

紫色ニシテ微青ヲ帶ビ黄心アリ、此根ヲ採テ藥用トス、一窠ニ燈心ノ大サノ細根數多ク集リ、紫赤色ナリ、漢渡モアリ、藥店ニ賣ルモノニ根色白キアリ、僞ナリ、必ズ折レヤスシ、コレ狗舌草ノ根ナリ、軟ニシテ折レガタク、色紫ナルモノ眞物也、一種メジヲント云アリ、苗葉花俱ニオホジヲント同クシテ小ナリ、葉ノ長サ五寸、莖高サ三四尺、一種黄花ノ者アリ、苗低小葉亦小ナリ、コレヲ黄ジヲント云、ソウラントモ云フ、

〔剪花翁傳三月開花〕早紫苑はるしむん 花紅藤色也、形小車に似たり、開花六月中旬、方三分陰、地撰ばず、土回塵肥淡小便、立秋より澆ぐべし、又寒中より春にかけて澆ぐべし、移うまかへは冬より春芽出し前よし、種登らず、よて根に玉あり、丸く大きなを撰み、植て悉く花出るなり、小玉長玉などは花上りがたし、

〔剪花翁傳四月開花〕和唐紫苑 花紅藤色、開花七月上旬也、房の形は毛毯のごとくなれど、英まらず、中品とす、育方いづれも同じ、

和紫苑 花一重、色紅藤、開花七月中旬也、花枝ともにまならず、中品とす、育方いづれもおなじ、

〔剪花翁傳四月開花〕紺紫苑 花の色濃青し、開花八月中旬より九月迄咲也、花枝ともにまならず、中品とす、育方同じ、

〔延喜式三十七諸國進年料雜藥〕

山城國卅二種略中 紫苑三斤、大和國卅八種略中 紫苑六斤略下

〔本草和名九〕女苑、一名白苑、一名織女、一名苒音苒、一名白葛注出范、一名如苒出釋、和名惠美乃禰。

〔重修本草綱目啓蒙十一〕女苑 コジヲン トウシヲン ヒメシヲン

京師ニハ野生ナシ、種ヲ傳テ栽ユ、東武ニハ自生アリ、葉ハ旋覆花ノ葉ニ似テ小シテ尖ラズ、長サ三寸許リ、潤サ六七分、初ハ地ニ就テ叢生ス、夏ニ至テ莖ヲ抽ルコト高サ二三尺、其葉互生ス、花ハ

女苑